41 01 08 03 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月14日（金）

事務事業	河川等整備管理事業	担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4141
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	河川法、土地改良法				
中項目	200001 都市整備の行き届いたまちづくり						
小項目	200004 治水対策の推進						

事業概要	治水対策として、市管理河川・排水路の改修、維持管理を適正に行うことにより、浸水・湛水被害の軽減および住環境ならびに農地の保全を図る。
目的 ※何のために	浸水・堪水被害の軽減および住環境ならびに農地の保全を図る。
対象 ※誰・何を対象に	準用河川・普通河川・排水路
手段 ※どのように	河川・排水路の改修および修繕を行う。 維持管理として、浚渫工事や雑草刈払い業務等を行う。
成果 ※何を求めるか	治水対策の強化と適正な流水機能を維持する。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　■ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	03	河川費	01	河川総務費	河川等整備管理事業	174,388,682
一般会計	08	土木費	03	河川費	01	河川総務費	排水路整備管理事業	0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 準用河川の整備	・ 排水路の整備
・ 河川台帳管理	・ 排水路の維持管理
・ 普通河川の維持管理	・ 災害時の復旧対応
・ 普通河川の整備	・
・ 準用河川の維持管理	・
・ 河川占用事務	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画	・維持管理 ・大堀川設計管理 ・排水路整備工事（中瀬・細田堀	・維持管理 ・河川の整備（大堀川流末部） ・排水路整備工事（横瀬・細田堀	・維持管理 ・河川の整備（大堀川下流部） 排水路整備工事（細田堀）	・維持管理 ・河川の整備（大堀川下流部） ・排水計画業務委託	・維持管理 ・河川の整備（大堀川下流部） ・排水計画業務委託	・維持管理 ・河川の整備（大堀川下流部） ・排水路設計業務委託
事業費 予算（現額）	159,103,000	235,629,000	266,181,991	194,699,400	137,992,000	182,096,000
決算額	132,302,884	194,055,259	199,220,935	174,388,682	0	0
財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	1,240,000	0	900,000	2,760,000
地方債	0	0	26,400,000	50,700,000	49,200,000	60,800,000
他特定財源	569,290	566,040	566,040	536,000	508,000	429,000
一般財源	131,733,594	193,489,219	171,014,895	123,152,682	87,384,000	118,107,000
人件費 従事職員数（人）	3.64	3.64	3.34	3.50	3.50	3.50
人件費相当試算 ※1	28,315,560	28,326,480	26,255,740	14,807,520	14,807,520	14,807,520
	0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）	160,618,444	222,381,739	225,476,675	189,196,202	152,799,520	196,903,520

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	河川改修工事延長	目標値	ｋｍ	0.00	0.09	0.09	0.15	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.17	0.09	0.07	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		予算から算出した工事延長を目標値として設定							
		当該年度の発注実績									
□	活動指標２	排水路改修工事延長	目標値	ｋｍ	0.17	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.17	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		予算から算出した工事延長を目標値として設定							
		当該年度の発注実績									
□	活動指標３	河川敷地内雑草刈払い延長（委託業務による）	目標値	ｋｍ	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	□
			実績値		14.00	14.00	14.00	14.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		委託箇所の総延長距離を目標値として設定							
		河川敷地内雑草刈払い距離									
■	成果指標１	市管理河川の苦情・通報件数（草刈り等除く）	目標値	件数	22.00	19.00	20.00	15.00	32.00	0.00	□
			実績値		19.00	20.00	15.00	32.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度実績値を目標値として設定							
		当該年度の実績値									
■	成果指標２	排水路の苦情・通報件数	目標値	件	220.00	223.00	199.00	260.00	306.00	0.00	□
			実績値		223.00	199.00	260.00	306.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		前年度実績値を目標値として設定							
		当該年度の実績値									
□	活動指標４	排水路雑草刈払い発注件数	目標値	件							■
			実績値		18.00	26.00	21.00	18.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		市民からの通報のため、目標値の設定になじまない							
		当該年度の発注実績									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	C	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 河川改修工事については目標値１４８ｍに対し、仮設や残土処理にかかる費用が増大したため実績値６９ｍと目標値を下回った。また、業務委託による河川敷の雑草刈払いにおいては目標値どおり完了した。
成果（意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 市管理河川及び排水路の苦情・通報件数は目標値である前年度の件数を上回ったが、苦情・通報に対し対応を行い適正な維持管理に努めることができた。
効率性（効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　河川係長　飯塚　佳樹

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	
達成状況及びその効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	河川等整備管理事業	担当課	道路河川課	担当係	河川係	管理番号	4141

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続
- ■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

河川・排水路の改修工事には多額の事業費を要し、またこれらが市内には相当数あるため維持管理についても思い通りに実施できないのが実情である。令和２年度においては河川改修工事延長がm単価の増大により大きく目標値を下回った。また、苦情・通報件数についても前年度を上回る状況となっている。このような状況を踏まえ、河川改修の促進と適切な維持管理のため、事業を拡充して実施したい。

評価者	道路河川課長　今井　吾郎

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

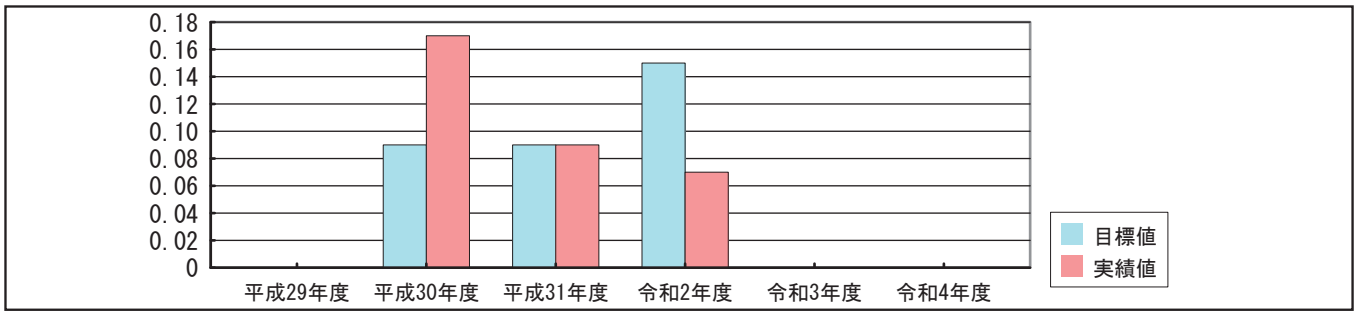
改善・改革案	・計画どおり令和９年度までに大堀川改修工事を完了するため、単年度工事延長の増 ・緊急性や危険性などを比較検討したうえでの苦情・通報に対する着手件数の増

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

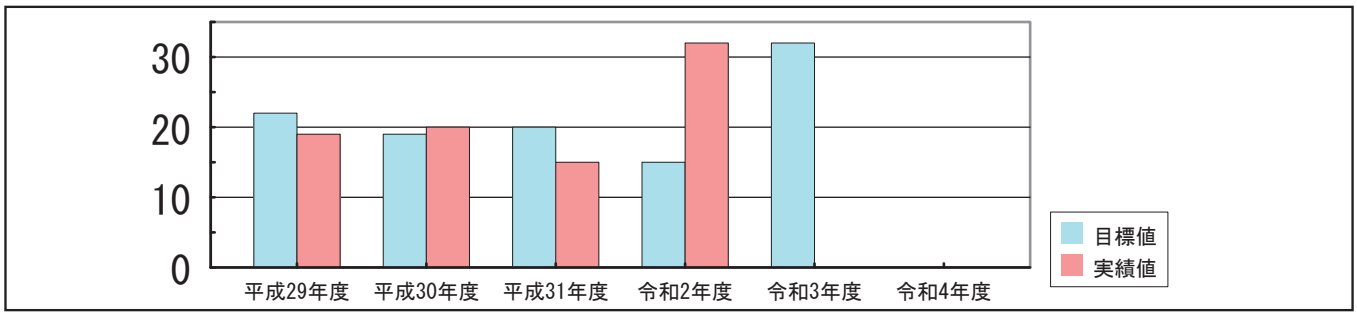
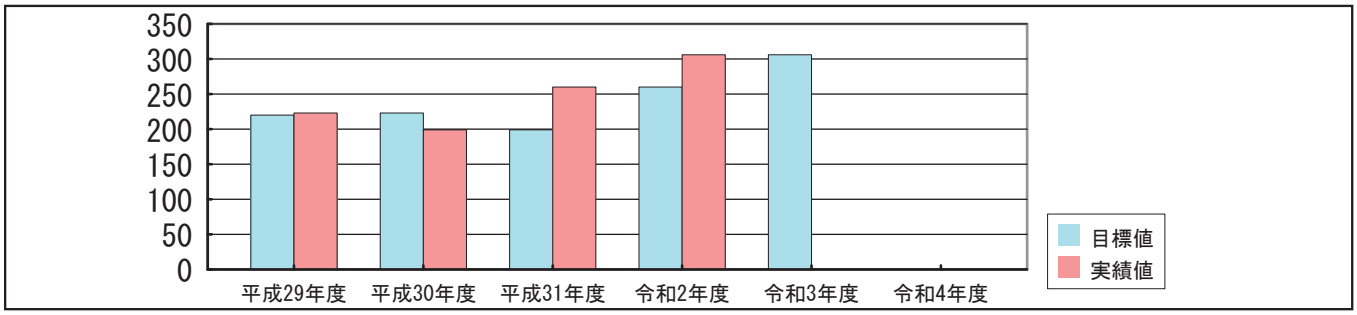
今後の課題	排水路の維持管理に関しては、地元の協力をお願いしているが、高齢化や後継者不足等の諸事情により対応が困難となっている。このような状況の中、少しでも労力及び費用を削減して効率的な維持管理を検討していくことが大きな課題となる。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	河川改修工事延長



区分	成果指標１	指標名	市管理河川の苦情・通報件数（草刈り等除く）



区分	成果指標２	指標名	排水路の苦情・通報件数